

記 事

演習林記事

昭和50年度

演習林報告第13号を発売するにあたり、例年どおりこの記事を掲載する。

I 人 事

- 1) 昭和50年8月1日付、文部教官江崎次夫は米野々演習林管理事務所長に、同日付、文部教官渡部芳夫が経営主任演習林本部勤務となった。
- 2) 昭和50年10月1日付、事務室主任本田良知事務官は教養部会計係長に、事務室主任に佐伯光一事務官が配置換になった。
- 3) 昭和51年3月31日、演習林長松島良雄教授は、任期満了した。

II 施 設・設 備

- 1) 米野々演習林長井田林道改修工事は、幅員3.6m、延長364mが工費880万円で施工された。
- 2) 昭和49年台風16号(9月1日)による、桧皮田、岩屋小屋両林道の災害復旧工事は、桧皮田9,411,775円、岩屋小屋10,079,430円の工費で3月完了した。なお、林外林道の復旧工事も全線完了した。
- 3) 同上台風災害による作業所(32m²、岩屋小屋)の復旧は3月末完了した。
- 4) 管理事務所敷地内に、プレハブ(19m²)を増築した。
- 5) ショベルカー(NB-15S型、ニッサン機材製)を7月に購入した。

III 経 営

- 1) 1林班よ小班5.07haの天然生林645m³を、松山市森林組合との伐木造集材作業請負契約により伐採し、モミ、ツガ、広葉樹等の素材468m³を生産し、指名競争入札により、4,716,000円で松山市森林組合へ売払った。
- 2) 間伐によりスギ素材182m³を生産し、伊予木材KK、松岡木材産業、松山市森林組合へ合計3,460,800円で売払った。
- 3) 当年度伐採跡地5.07haにスギ10,700本、ヒノキ8,400本、アカマツ2,500本を植栽した。また、前年度植栽地にスギ700本、ヒノキ500本の補植を行った。
- 4) 幼齢造林地26.22haの下刈、40.3haのつる切、除伐を行った。
- 5) 苗木生産は、スギ11,400本、ヒノキ8,900本、アカマツ2,500本の山行苗を生産した。

IV 山林保護対策

- 1) 米野々演習林の林内巡検は、毎週1回行った。
- 2) 昭和51年3月11日、松山市消防団湯山分団長外4名と林内防火診断を行った。
- 3) 防火線の刈払い2,000m、標識の設置等を行った。

V 演習林協議会

- 1) 昭和50年6月26日第27回演習林協議会を開催し、昭和49年度事業報告、昭和50年度事業予定に関する件、演習林整備計画案について討議した。

VI 全国大学演習林協議会

- 1) 昭和50年6月12日、全国大学演習林協議会春季総会が、名古屋市産業貿易館で開催された。
- 2) 昭和50年10月20、21日、全国大学演習林協議会秋季総会並びに業務担当者会議が、愛媛大学農学部で開催された。

VII 学生の実験・実習

昭和50年度中に実施された演習林における学生の実験・実習は、下記のとおりである。

| 実習課目 | 期 間 | 担 当 教 官 | 学 生 |
|-------|-----------------|-----------------|---------|
| 森林計画学 | 昭和50年10月17日～20日 | 山畑教授、山本助手 | 4回生 4名 |
| 森林工学 | 昭和50年10月20日～22日 | 伏見助教授 | 4回生 15名 |
| 林木測定学 | 昭和51年3月5日～10日 | 藤本助教授、山本助手 | 3回生 11名 |
| 造林学 | 昭和51年3月10日～13日 | 中島教授、金子助教授、辻田助手 | 3回生 21名 |

ほかに、育苗実験・実習は、勝山試験地にて年間を通じて実施された。

VIII 試験・研究

- 1) 昭和50年度中に演習林に試験地等を設定し、次の試験を行った。
 - ① 日本産雑草類の林道のり面保護工に対する利用方法に関する研究
 - ② 苗畑土壌改良試験
- 2) 昨年度までに演習林内に試験地を設定し、現在まで継続して測定・調査等が行われている試験は、次の通りである。
 - ① 六演習林共同試験「スギ品種地域特性試験」第I試験地 43年3月設定, 5, い
 - ② 六演習林共同試験「スギ品種地域特性試験」第II試験地 44年3月設定, 1, ほ
 - ③ 六演習林共同試験「スギ品種地域特性試験」第III試験地 45年3月設定, 1, ほ
 - ④ 六演習林共同試験「スギ品種地域特性試験」第IV試験地 45年3月設定, 1, ほ
 - ⑤ 六演習林共同試験「スギ品種地域特性試験」第V試験地 46年3月設定, 1, へ
 - ⑥ 六演習林共同試験スギクローン集植地 45年3月設定, 1, ほ
 - ⑦ 愛媛県産スギ精英樹クローン特性試験 48年3月設定, 1, ぬ
 - ⑧ ヒノキ挿木苗の特性試験 48年3月設定, 1, ぬ
 - ⑨ 関西地域スギクローン地域差検定林(林試と共同) 49年3月設定, 1, を
 - ⑩ 林道のり面の保護工 43年8月第1回目の試験地設定以来場所工法をかね現在まで継続して実施している。
 - ⑪ 施肥試験地 43年3月設定, 4, ほ, に
 - ⑫ 林分生長量測定試験地 第1～3, 41年3月設定, 1, い, 2, わ

3) 昭和50年度中、研究室等の演習林を利用した調査、研究等は次の通りである。

- ① 形質生長に関する基礎的研究, 1, 2 林班, (森林計画学)
- ② テープレコーダー利用による毎木調査, 1 林班, (森林計画学)
- ③ 米野々演習林昆虫相調査, 全域 (応用昆虫学)
- ④ スギ枝条材の研究, 1 林班, (木材理学)
- ⑤ 外傷による異常組織形成に関する研究, 1 林班, (木材理学)
- ⑥ 農芸化学科学生の合宿研修, 管理事務所, 1 林班, (農芸化学科)
- ⑦ 野鳥の調査, (探鳥会) 1.2 林班, (松山市教育委員会)

4) 気象観測の結果は、別表に示す。

5) 昭和50年10月、演習林報告12号、500部を発行した。

IX 学部庭園管理

ポプラ並木の整枝、クス並木の伐採を行った。その他は、経常的な維持管理を行った。

X 昭和50年度予算および決算

歳入予算

| | |
|-----------|------------|
| 収 入 目 標 額 | 7,700,000円 |
|-----------|------------|

歳入決算

| | | |
|-----|----------------------|------------|
| 素 材 | 650.33m ³ | 8,176,800円 |
|-----|----------------------|------------|

歳出予算

(校 費)

| | |
|-----------------|-------------|
| 演 習 林 経 費 | 11,693,000 |
| 理 工 系 学 部 設 備 費 | 1,000,000 |
| 実 習 施 設 設 備 費 | 1,600,000 |
| 林外林道災害復旧受益者負担金 | 596,000 |
| 普 通 庁 費 | 12,600 |
| 教 官 当 積 算 校 費 | 681,606 |
| 自 動 車 維 持 費 | 53,000 |
| 設 備 更 新 費 | 183,000 |
| 被 服 費 | 7,337 |
| 予 算 節 約 額 | △ 252,650 |
| 前 年 度 調 整 額 | 256,790 |
| 当 年 度 調 整 額 | 502,245 |
| 庭 園 管 理 費 | 520,000 |
| 計 | 16,852,928円 |

歳出決算

(校 費)

| | |
|--------------|-------------|
| 生 産 事 業 費 | 4,396,790 |
| 育 林 事 業 費 | 2,380,490 |
| 種 苗 事 業 費 | 632,067 |
| 土 木 事 業 費 | 365,875 |
| 諸 調 査 費 | 13,795 |
| 実 習 ・ 研 究 費 | 820,386 |
| 演 報 印 刷 費 | 785,000 |
| 自 動 車 維 持 費 | 391,880 |
| 管 理 費 | 1,359,935 |
| 施 設 費 | 1,230,000 |
| 設 備 費 | 2,814,000 |
| 林道災害復旧受益者負担金 | 1,142,359 |
| 庭 園 管 理 費 | 520,351 |
| 計 | 16,852,928円 |

(旅 費)

| | |
|-------------|----------|
| 演 習 林 旅 費 | 476,000 |
| 会 議 出 席 旅 費 | 88,400 |
| 学 内 連 絡 旅 費 | 14,000 |
| 教 官 研 究 旅 費 | 91,511 |
| 予 算 節 約 額 | △ 44,400 |
| 計 | 625,511円 |

(旅 費)

| | |
|-------------|----------|
| 演 習 林 旅 費 | 321,150 |
| 会 議 出 席 旅 費 | 131,380 |
| 学 内 連 絡 旅 費 | 79,401 |
| 教 官 研 究 旅 費 | 93,580 |
| 計 | 625,511円 |

昭和50年気象観測結果

別表

| 種目別 | 月別 | | | | | | | | | | | | 年 | |
|-----|----------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|----------------|---------------|----------------------|
| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | | |
| 気 | 平均 | 2.2 (2.3) | 2.0 (2.7) | 9.3 (5.5) | 12.3 (11.8) | 15.8 (15.5) | 20.1 (19.4) | 23.7 (23.6) | 23.2 (23.9) | 20.7 (19.6) | 16.1 (13.9) | 10.8 (8.4) | 4.0 (3.5) | 13.4 (12.5) |
| | 最高 | 6.5 (7.1) | 6.6 (7.7) | 14.4 (10.9) | 18.5 (18.0) | 22.0 (21.5) | 25.3 (24.2) | 29.2 (28.6) | 28.7 (29.0) | 27.7 (25.6) | 20.6 (19.8) | 15.4 (14.5) | 8.5 (9.1) | 18.6 (18.0) |
| | 最低 | -3.6 (-2.8) | -2.7 (-2.0) | -0.3 (-0.8) | 6.4 (5.3) | 9.7 (9.2) | 14.8 (14.4) | 19.0 (19.0) | 19.5 (19.0) | 16.8 (15.2) | 12.6 (9.3) | 5.9 (3.0) | 0.1 (-1.2) | 8.2 (7.3) |
| 温 | -8.6 (-8.6) | -5.9 (-9.8) | -4.8 (-7.2) | -4.8 (-4.8) | 3.0 (2.0) | 10.2 (9.0) | 14.7 (14.5) | 16.6 (11.3) | 11.8 (5.0) | 7.2 (1.0) | -0.5 (-5.5) | -4.6 (-5.2) | | |
| 湿 | 72 (71) | 77 (71) | 73 (66) | 73 (68) | 73 (69) | 86 (75) | 88 (79) | 86 (80) | 84 (80) | 82 (75) | 82 (74) | 82 (73) | 83 (73) | 80 (73) |
| 度 | 22 (15) | 20 (14) | 20 (10) | 19 (8) | 13 (10) | 36 (12) | 53 (10) | 37 (32) | 34 (19) | 42 (16) | 36 (10) | 38 (15) | | |
| 降 | 67.9 (97.6) | 106.9 (95.8) | 47.5 (86.9) | 166.5 (213.5) | 68.0 (153.1) | 409.2 (320.1) | 203.9 (209.3) | 390.4 (249.5) | 150.1 (215.9) | 225.5 (155.4) | 103.4 (96.3) | 64.9 (70.7) | | 2,004.0 (1,964.0) |
| 水 | 22.6 (91.3) | 20.1 (42.0) | 16.2 (32.6) | 36.7 (129.4) | 12.5 (73.2) | 86.6 (97.5) | 75.6 (113.5) | 199.5 (300.5) | 28.0 (271.0) | 58.7 (58.7) | 32.3 (38.6) | 15.1 (30.8) | | |
| 量 | 13.4 (21.8) | 11.0 (21.2) | 10.2 (12.0) | 25.2 (44.5) | 12.0 (42.7) | 46.5 (69.5) | 61.6 (61.6) | 71.5 (169.5) | 25.5 (161.5) | 24.0 (29.5) | 14.6 (37.0) | 7.3 (13.0) | | |
| 蒸 | 24.6 (28.6) | 18.9 (30.9) | 59.3 (62.4) | 50.4 (79.8) | 87.0 (96.5) | 70.3 (80.1) | 104.5 (105.1) | 90.5 (107.3) | 83.3 (77.5) | 50.3 (54.9) | 35.2 (40.7) | 23.6 (31.3) | | 697.9 (795.2) |
| 発 | 1.3 (2.8) | 1.2 (3.0) | 2.9 (5.5) | 3.0 (6.9) | 5.3 (7.1) | 6.0 (7.0) | 5.8 (8.5) | 6.1 (8.4) | 4.7 (5.7) | 2.8 (3.6) | 2.9 (4.6) | 1.3 (3.8) | | |
| 量 | | | | | | | | | | | | | | |

() 内は、昭和45年~50年の平均値および極値を示す。